

平成 27 年度 都筑区民意識調査 調査結果概要

都筑区役所では、区民の生活意識と生活行動を把握し、区政運営に活かすことを目的に、区民意識調査を実施しました。(前回は、平成 23 年度に実施しました。)

今回の調査では、居住意向などの基礎データのほか、前回から継続して「震災対策」、「自治会町内会」、「地域での支え合い」、「子ども・子育て支援」、「文化活動」等について伺いました。また、地域的・社会的な重要課題である「健康づくり」、「高齢者支援」、「道路・交通」についても、新たに調査項目として加えました。

○調査結果のポイント

- ・近年移り住んだ区民が多いが、定住意向は強い
- ・健康づくりでは、「普段運動している場所」は緑道が最も高いが、運動していない人が 24.8%
- ・高齢者への必要な支援や取組では「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」が必要と考えている人が最も多い

1 調査概要

- 調査対象：都筑区内に在住する満 20 歳以上の方（外国人市民を含む無作為抽出）3,000 人
- 調査方法：郵送調査（郵送で調査票を送り、郵送で回収）
- 調査期間：平成 27 年 5 月 20 日～6 月 15 日 ■設問数：34 問
- 回収結果：1,558 票（回収率 51.9%） ※前回（平成 23 年度）回収率：55.0%

<調査分析に用いた地区割>

地区名	連合町内会名		
東部地区	東山田連合町内会	山田連合町内会	
北部地区	中川連合町内会		
中部地区	勝田茅ヶ崎地区連合町内会 茅ヶ崎南 MGCRS 連合自治会	かちだ連合自治会	新栄早瀬連合町内会
南部地区	都田連合町内会	池辺町連合自治会	佐江戸加賀原地区連合自治会
西部地区	川和地区連合町内会 荏田南連合自治会	ふれあいの丘連合自治会 渋沢連合自治会	柚木荏田南連合自治会

※地区割は地域活動の基盤になっている地区連合自治会・町内会エリアを基礎に、概ね 4 万人を 1 地区として 5 地区に区分
※自治会・町内会未加入の地域については、地理的な条件や地域特性を考慮し、近接する地区連合に組み入れることとした

2 回答者の属性

①性別

	今回調査	前回調査 (H23)
男性	44.0%	44.3%
女性	53.8%	54.4%
無回答	2.2%	1.3%

②年齢

	今回調査	前回調査 (H23)
20歳代	7.6%	9.0%
30歳代	14.6%	19.2%
40歳代	26.5%	24.2%
50歳代	18.4%	15.8%
60歳代	15.9%	17.6%
70歳代	15.1%	13.4%
無回答	1.9%	0.8%

③家族形態

	今回調査	前回調査 (H23)
ひとり暮らし	8.0%	6.5%
夫婦だけ	23.5%	20.7%
親と子	59.4%	61.6%
親と子と孫	5.2%	7.7%
その他	2.4%	2.2%
無回答	1.5%	1.2%

④就労状況

	今回調査	前回調査 (H23)
正社員・正職員(公務員・団体職員含む)	34.6%	36.5%
自営業(商店経営、農業、開業医など)	6.6%	5.7%
契約社員・嘱託社員・派遣社員	6.0%	4.7%
パート・アルバイト	15.3%	14.4%
専業主婦・専業主夫	18.2%	21.6%
学生	1.8%	2.5%
就業していない	13.1%	9.5%
その他	2.1%	3.1%
無回答	2.3%	2.1%

3 都筑区に対する居住意向

①居住開始時期

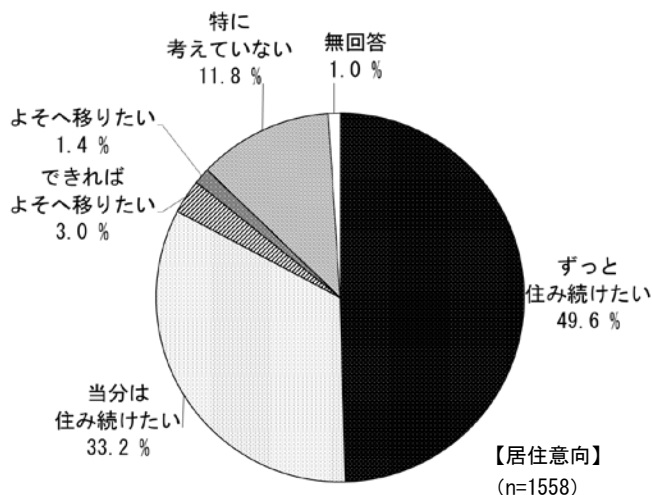
平成7年以降に住み始めた人が全体の約6割を超える。「平成22年以降」に都筑区に住み始めた人の割合が最も高い(18.6%)。

②都筑区に来る前の居住地

「市内(都筑区以外の横浜市)」が最も高く、37.5%、市外(その他の道府県)からの転入は年々増加傾向にある。

③居住意向

8割以上の人々が『住み続けたい』と回答しており、年代が上がるほど「ずっと住み続けたい」の割合が高まる傾向にある。



4 通勤・通学の状況

①職場・学校の所在地

東京都内へ通勤・通学が、全体の約1/4(26.0%)。「自宅」、「自宅周辺の町内」を含めた『都筑区内』への通勤・通学は全体で33.0%

②通勤・通学にかかる時間

通勤・通学に1時間以上かかる人の割合は全体で32.7%、20歳代で42.8%、男性では44%、女性では19.1%。

5 「普段の買い物」や「たまにする買い物」

①買い物先

普段の買い物では「スーパーマーケット」が一番高く68.4%。たまにする買い物では「百貨店・大型ショッピングセンター」が一番高く64.0%。

②都筑野菜の購入経験

「購入したことがある」が76.3%、「新鮮でおいしければ購入したい」が75.5%。

6 震災対策

①震災対策について

「以前から備えていた対策」と「震災後に始めたり強化した対策」は共に「携帯ラジオ、懐中電灯などの準備」が第1位、「今後予定する対策」は「現金など貴重品の持ち出し」が第1位。

②避難先の認知度

地域防災拠点の認知度は「知っているし、場所もわかる」が63.2%。自治会・町内会加入の有無別にみると、「知っているし、場所もわかる」は加入者で70.4%、未加入者で47.6%で加入者の方が高い。

③火災を感知する機器の設置

「設置されている」は全体の8割超、「持ち家(分譲マンション、共同住宅)」では95.0%。『一戸建て』よりも『共同住宅』の方が設置されている割合が高い。

7 自治会・町内会活動

①自治会・町内会への加入状況

自治会・町内会への加入状況は7割強。地区別でみると、「入っている」が「西部地区」で79.9%と最も高く、次いで「南部地区」73.4%、「北部地区」70.3%、「中部地区」67.6%、「東部地区」67.0%。

②自治会町内会活動に期待する取組

自治会町内会に期待する取組は「災害時や日ごろの支え合い」が52.4%で最も高く、次いで「防犯活動」50.3%、「防災活動」42.8%。

8 地域での日頃の支え合い

①隣近所に住んでいる人を知っているか

『知っている』が63.6%、小学生・高齢者が同居家族にいる、自治会・町内会に加入していると『知っている割合』が高まる傾向にある。

②日ごろの近所付き合いの程度

「お互い困ったときには助け合っている」割合は、全体で約1割。こちらも小学生・高齢者が同居家族にいる、自治会・町内会に加入していると割合が高まる傾向にある。年代別では「20歳代」が最も低く5.9%、「70歳代」が最も高く20.0%となっている。

9 区内における社会貢献活動

①過去1年間の社会貢献活動の経験

経験がある人は27.9%。家族に「小学生がいる」と「いない」人より社会貢献活動の経験がある割合が高い。

②重要度が高いと考える社会貢献活動

「防災・災害救援に関する活動」が34.5%と最も高く、次いで「防犯・安全に関する活動」32.3%、「社会福祉に関する活動」31.6%。

10 子ども・子育て支援

①子育て経験の有無

「経験がある」「現在子育て中（18歳未満の子）」と合わせて7割超。

②安心して子育てを行うために必要な施策

「保育サービスの充実」が54.3%と最も高く、次いで「子育てと仕事の両立のための職場環境づくり」37.9%、「子育てに関する相談窓口の充実」32.2%。

11 健康づくり

①健康づくりの取り組みで重要だと思うこと、実際に取り組んでいること

重要だと思うこと、実際に取り組んでいることはともに「バランスよく食べる」が最多(66.8%・51.7%)。

②普段運動している場所

普段の運動は「緑道」が最も高く27.4%。「運動はしていない」は約1/4(24.8%)。

12 高齢者支援

①高齢者の生活で特に不安なこと

不安なこと上位は「介護が必要な状態になること」、「健康や病気のこと」、「生活費や収入のこと」。

②高齢者人口の増加に対する支援や取組

「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」が最も高く48.2%。

13 文化活動

①日頃行っている文化活動・鑑賞

「映画」が最も高く4割超、次いで「音楽」が3割超。

②文化活動をするために必要な施設

「様々なイベントができる多目的ホール」が46.9%と最も高く、次いで「身近な場所で音楽演奏や演劇ができる大ホール」25.0%、「演奏のリハーサルや練習ができる防音施設」18.2%、「演芸など日ごろの活動が気軽に発表できる小ホール」17.5%。

14 道路・交通

①バスを利用する目的

「通勤・通学」が40.3%。「20～50歳代」は「通勤・通学」が最も高く、「60歳代」は「たまにする買い物」、「70歳代」は「日常的な買い物」が最も高い。

②道路環境について特に必要だと思うもの

全体では「自転車が通行する空間の整備」が最も高く45.2%。「南部地区」では「交通渋滞が高く発生する個所の改善」が最も高く41.0%。

15 区民利用施設

①区民利用施設の認知度と利用状況

「都筑図書館」は「利用したことがある」が59.2%。「プール」、「都筑公会堂」、「地区センター」は5割弱。

②区民利用施設の利用頻度

「都筑図書館」「老人福祉センター」は、利用者の約3割が『月に1回以上』利用。

16 都筑区の生活環境に関する重要度・満足度

①生活環境の重要度

	1位	2位	3位	4位	5位
上位 5項目	電車の利便	病院やかかりつけ医などの地域医療	3位 歩行者のための道路環境の整備 防犯に対する意識や取組		災害に対する意識や取組
下位 5項目	広報・広聴など区政への市民参加の推進	バスの利便	農地の保全や農業の振興、地産地消	区民利用施設の充実	商店街や企業の振興

②生活環境の満足度

	1位	2位	3位	4位	5位
上位 5項目	電車の利便	公園（緑道を含む）の整備	街並み景観の整備	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	車利用のための道路環境の整備
下位 5項目	自転車利用のための道路環境の整備	車両の路上駐車や交通安全	バスの利便	4位 歩行者のための道路環境の整備 商店街や企業の振興	

③生活環境の変化度（ここ数年で良くなったか、悪くなったか）

	1位	2位	3位	4位	5位
上位 5項目	電車の利便	最寄り駅周辺のまちづくり	駅周辺等の放置自転車対策	4位 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり 公園（緑道を含む）の整備	
下位 5項目	バスの利便	車両の路上駐車や交通安全	自転車利用のための道路環境の整備	商店街や企業の振興	歩行者のための道路環境の整備

④生活環境のニーズ度（重要度と満足度の差）

	1位	2位	3位	4位	5位
上位 5項目	車両の路上駐車や交通安全	歩行者のための道路環境の整備	自転車利用のための道路環境の整備	防犯に対する意識や取組	災害に対する意識や取組
下位 5項目	広報・広聴など区政への市民参加の推進	農地の保全や農業の振興、地産地消	区民利用施設の充実	街並み景観の整備	緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備

横浜市都筑区区政推進課企画調整係 電話 045-948-2226 FAX045-948-2399

調査報告書の全文は、都筑区役所ホームページでご覧いただけます

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/soumu/toukei/27ishiki.html>